

矢沢地域情報誌

やまぼろし

No. 55

2026年3月1日

発行 矢沢地域振興会(矢沢振興センター)内容(税込)29,548(0) 印刷 トーパン印刷(株) mail : yashinkai025@gmail.com

冬休み世代間交流 ― ニュースポーツに挑戦 ―

「キッズわくわくスクール」

花巻市社会福祉協議会矢沢支部は、1月8日に矢沢地域振興会との共催の児童支援事業「キッズわくわくスクール」を開催しました。冬休みに行われる本事業は、世代間交流企画として矢沢地区老人クラブ連合会の皆さんと一緒に実施されます。

3回目となる今回は、シールラリー「ニュースポーツに挑戦！」を開催。矢沢小学校児童、老人クラブの皆さん、運営委員と総勢71名が、①輪投げ②スカットボール③ストラックアウト④卓球バレーの4種目に挑戦しました。4つのグループに分かれ、1種目ずつ順番に回ります。



輪投げ

お互いのプレーに声援を送ったり、自然と歓声や拍手が起こったり、和やかな雰囲気で行われました。輪投げのコツを老人クラブの方に教わっている児童の姿も見られました。この日一番白熱した卓球バレーでは、児童VS老人クラブでの対決方式で行われ、世代を越えた真剣勝負が繰り広げられました。



卓球バレー



ストラックアウト



スカットボール

世代や体力に関係なく、さまざまな人が一緒に楽しめるニュースポーツ。競技を通して世代間の交流が深まった一日となりました。

高木団地 自治会の歩み



高木団地自治会
会長 伊藤昇

かえりみずすと、昭和43年に岩手県住宅公社によって造成され、45年には171世帯が増え、「環境問題」「コミュニケーション」活動の観点から、8月にたかき幼稚園様の会場で高木団地自治会を創立いたしました。

創立以来いろんな諸問題を抱えながら、即、集会所問題を解決して、51年4月には高木団地会館を完成致しました。会館を活動拠点として、公園の造成、多目的広場整備事業、道路整備促進、LPガス供給の共同化、防犯灯整備、電話回線の促進、定期バス路線の確保等々数多くの諸問題を重ね、住環境の整備に全力を注いで参りました。

住民のまちづくり意識も向上し、親睦と交流を深めることを目的として、昭和52年に具体的な組織化を図りました。この頃、小学生209名、中学生63名おりましたので、家庭教育学級を立ち上げて、活動したことを今も忘れられません。

55年6月には高木団地自治会創設10周年記念行事を始め

として、節目ごとに記念行事を開催してきました。自治会6つの行事も定着し、毎年実施され、各分野でも活動が展開しています。

又、平成20年10月には二度目の会館を新築致しました。これも会員のご協力のお陰といつも感謝をしております。

高木団地も少子高齢化が進み、家族構成や地域の在り方も変化し、空き家、一人暮らしも増えてきております。これからの地域づくりを考えるとき、現状を真摯に受け止め、これからは地域子どもたちの育成教育が不可欠と考えます。自治会創立54年目を契機として、皆様方と共に過去を反省し、さらに発展し、生きがいのある安全で安心して暮らせる地域づくりを展望していきたいと思っております。矢沢地域の皆様方、今後ともよろしくお願い致します。



新年交賀会の模様

総合順位表

順位	行政区
1位	高木小路
2位	幸田
3位	高木第二
4位	東十二丁目
5位	高松第三
6位	高木第一
7位	高木第三
8位	矢沢

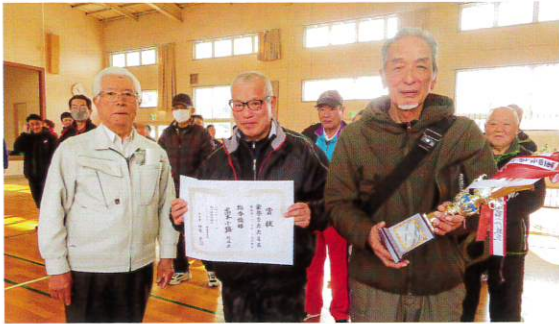
参加した選手、スポーツ推進員等55名は、寒さをものともせず元気に競技に取り組み、会場は熱気に溢れるとともに、笑い声が絶えない和やかな雰囲気になりました。

試合の結果は、ポッチャは高木小路行政区、ディスクゲッターは幸田行政区が優勝しました。総合順位は以下の通りです。

**矢沢地区
ニュースポーツ交流大会**
交流と親睦を深める

矢沢地区ニュースポーツ交流大会は1月18日、矢沢振興センターで開かれ、参加した8行政区の選手たちがポッチャとディスクゲッターの2種目を通して交流を深めました。

この大会は冬期間の健康増進と地区民相互の親睦を深めることを目的に、ニュースポーツ推進事業部会（伊藤昇部会長）が企画し、今年で5回目の開催になります。



総合優勝の高木小路行政区の代表者と伊藤昇部会長



石川直子さん指導による参加者全員の準備体操

改選「民生委員・児童委員」を紹介します

令和7年12月1日、民生委員・児童委員の改選がありました。矢沢地区の民生委員・主任児童委員19名中、7名の方が交替しました。長年にわたり大変ご苦勞様でした。今後3年間、新たに任命された下記メンバーがみな様の生活支援をします。お困りごとや不安なことがありましたら遠慮なくご相談ください。

氏名 (○印は新任)	担当地区
○ 谷川 美保子	矢沢 (一・四)
鈴木 幹子	矢沢 (二・三)
小原 一男	矢沢 (五・六・鞍掛)
小原 佳子	幸田
○ 小原 千恵	高松第一
○ 多田 有一	高松第二
○ 熊谷 哲周	高松第三
○ 高橋 由美子	高木第一
佐藤 恭治	高木第二
江 信一	高木第二
高橋 純子	高木第三
佐藤 智明	高木第三
鴨 澤 幸子	高木小路
小原 則子	高木小路
芳門 寿子	東十二丁目
○ 中村 信子	東十二丁目
○ 照井 吉行	東十二丁目
押切 和美	主任児童委員
深澤 俊道	主任児童委員



ポッチャ競技の説明を熱心に聞く参加者



「これは面白い」得点争いに熱が入る



大広間でのディスクゲッター競技

小学校コーナー

おもちゃフェスティバル開催

まつぼっくりけん玉に、ヨットカー。とことこ車に、ぽっちんジャンプ。名前を聞いただけで、わくわくするおもちゃがずらり。

12月に行われた、生活科「おもちゃフェスティバル」。

2年生は、1年生に喜んでからおうと、おもちゃや看板、受付まで何でも手作りしました。1年生は、お兄さんお姉さんの手作りおもちゃで思い切りの



中学校コーナー

新応援リーダーお披露目会

【1月29日】

昨秋から2ヶ月にわたるリーダー養成期間を経て、立派に成長した21名のリーダーたち。自己紹介に続いて、全校生徒の前で堂々と、応援歌を披露しました。

養成にあたっては、3年生リーダーが、献身的に指導してくれました。先輩から後輩

へ、矢沢中の伝統が引き継がれた瞬間でした。

星川さんのリーダーシップの下、応援のみならず、日常生活においても全校集団の士気を高め、矢沢中をさらに、発展させてくれることと期待しています。



雪の日コラム

矢沢小学校PTA副会長

菊池 ちひろ

今年は、雪が多い。雪を見て心躍らせ、雪にふれて喜ぶ子どもたち。雪玉を投げたい、氷を割りたい、つららを取りたい、新雪にスボスボと足を踏み入れたい。雪かきは大変だが、子どもたちの遊び相手になってくれる雪に、感謝する冬だ。

3学期の始業式、黄色い旗を持ち、娘と共に百目木

バス停へと向かった。寒い朝にも関わらず、荷物を抱えた子どもたちがいつも通りバス停に集まった。指定された場所にきちんと並び、バスを待つ。本当に素直でかわいい子どもたちだ。バスが到着すると、運転手さんがバスを降り、黄色い旗を使って誘導して下さる。発車時、保護者の皆でバスに手を振ると、矢沢十文字の子どもたちまで手を振りかえしてくれる。なんとかわいいこと。

この2年間、通学委員と

してバス停の見守りを行ってきた。バスに乗り込み、シートベルトをしめて座っているかどうか、声をかけて回ったこともあった。見送り後、保護者同士で、楽しいおしゃべりもできた。子どもは、地域の宝だ。子どものおかげで、またこの地域を好きになる。来年度もできるだけバスに手を振ろう。



わが同好会の紹介(25)

NOC代表 八森 環

毎週木曜日の10時から2時間位、矢沢地区社会体育館でバドミントンを楽しく行っています。ダブルスの試合形式です。

男女年齢問わず参加をお待ちしております。



私のひとこと

矢沢中学校

PTA会長 渡辺 好和



矢沢中学校PTA会長の渡辺好和と申します。地域のみな様には、日頃より多大なるご協力をいただき感謝いたしております。

ご報告となりますが、3学期より中学校もスクールバスの運用が始まりました。以前

から保護者様の要望が多く、小・中PTAが連携し今年度中の運行が実現しました。現段階では冬季期間のみの運行となり、課題もありますがみな様の声を基により良い方向へ進めていきたいと考えております。私事ですが、会長2年目にしてやっと仕事らしい仕事ができたとほっとしております。義務教育学校につきましては、着々と計画は進んでおり、みな様もご存じのように校名募集も行っております。今後は、各委員会で詳細を詰めていく作業が待っています。



義務教育学校の屋外多目的スペース

よりよい学校環境を作るためには地域のみな様のご協力が必要ですので、引き続きご指導ご協力をお願いいたします。

矢沢地域振興会主催事業



自然探訪教室：小雨に煙るツツジの徳仙丈山



明朗大学：成島和紙利用のランプシェード作り



子育て支援：サンタさんも登場
こども広場のクリスマス

矢沢地域振興会では、このような事業もやっています。

【編集後記】

雪の降った朝、軒下の地面が出ている所に一羽のすずめが飛んできた。可愛いと思い、身動きしないでジッと見ていると、周囲を警戒しながら足元をついばんでいた。以前と違って毛並みが悪く痩せて見えた。ダイエツト中なのかな？昔はもつとまん丸と太っていたと思う。そしてこの時期、一羽で無く数羽で行動していたと思う。我が家の周りだけなのか、年々数が減っているような気がする。近年、稲穂が垂れるころには、すずめの大群も見かけなくなつた。秋は害鳥で春は虫を食べる益鳥というが、見かけなくなる寂しい。人間(私)は勝手ですね。

令和8年が始まっています。今年はどうなるのか。コロナやインフル等のウイルス、それと熊やイノシシなどの害獣がおとなしくなり、天災や震災そして争いのない、穏やかな日々が続くことを願いたいです。(編集委員 多田 繁)

